



株式会社アジュバンホールディングス
2024年3月期 決算説明会資料
2024年4月22日



目次

- I. 会社概要
- II. 2024年3月期実績
 - 1. サマリー
 - 2. 2024年3月期実績
 - 3. 区分別売上高 前期比増減要因
 - 4. 損益の増減要因（対前期比）
 - 5. 貸借対照表 前期比増減要因
 - 6. キャッシュ・フロー計算書
- III. 2025年3月期計画
 - 1. 通期計画の前提①、②
 - 2. 通期計画、上下比
 - 3. 研究開発動向
 - 4. 株主還元
- IV. 参考情報

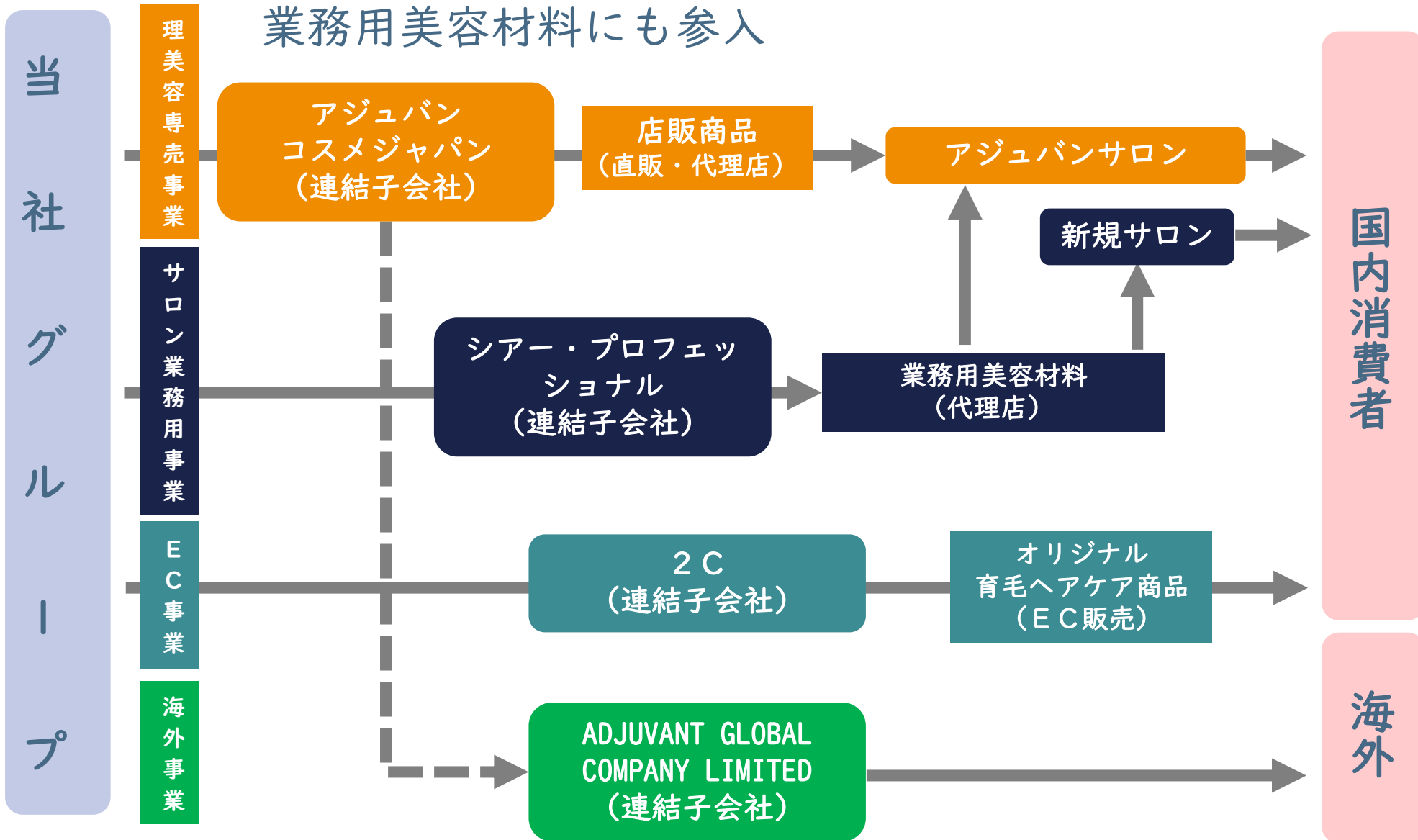
会社概要

グループ会社概要（2024年3月20日現在）

■ 事業内容	理美容エステサロン向けスキン・ヘアケア、 業務用美容材料販売 ECによる個人向けヘアケア販売 等
■ 設立	1990年4月10日（2021年9月21日持株会社制に移行）
■ 持株会社	株式会社アジュバンホールディングス
■ グループ会社数	4社
■ 代表者	代表取締役会長兼社長 中村 豊
■ 資本金	776百万円
■ 上場	2012年12月13日
■ 株主数	24,169名
■ グループ売上高	4,438百万円（2024年3月期）
■ グループ従業員数	137名

ビジネスモデル

サロン及びダイレクトに消費者向け化粧品を提供するファブレス企業
業務用美容材料にも参入



事業内容

スキンケア

理美容専売事業：アジュバンコスメジャパン

クレンジング、洗顔料、化粧水、美容液
マスク、保湿クリーム、化粧下地、メイク
ボディケア



ヘアケア

理美容専売事業：アジュバンコスメジャパン

シャンプー、トリートメント、スタイリング
カラー剤等



その他

理美容専売事業：アジュバンコスメジャパン

美容機器類



EC事業：2C

シャンプー
育毛ローション
栄養機能食品
頭皮ブラシ



業務用事業：シアー・プロフェッショナル

カラー剤



海外事業：ADJUVANT GLOBAL

アジュバン化粧品の海外販売

2024年3月期実績

2024年3月期 総括

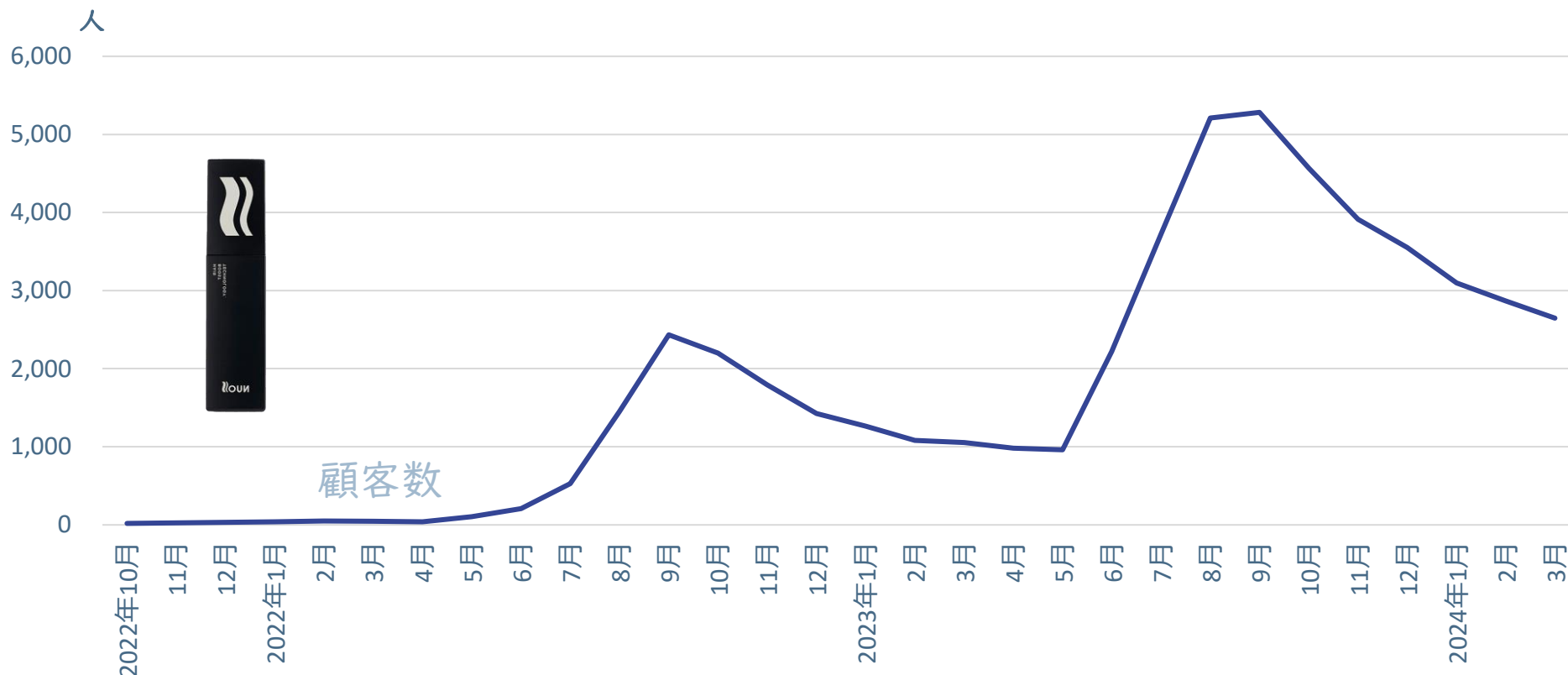
- ◆ グループ全体の売上高及び利益は、前期比増収（+1.4%）、営業損失1百万円
（前期は営業利益232百万円）
- ◆ 理美容事業は新シリーズの上市による売上の牽引はあったものの、上市から数年経過した既存商品の落ち込みが影響し減収
- ◆ E C 事業は広告宣伝効果により前半は売上成長を図れたが、後半は広告宣伝を抑える施策に転換し、赤字体質から脱却を図る
- ◆ 原材料等仕入れ価格の上昇による大きな影響はなし
- ◆ E C 事業の在庫評価減を年間で91百万円計上（一過性）
- ◆ E C 広告宣伝費、減価償却費、I T 費による販管費の増加

サマリー ②

◆ E C事業の顧客数月次推移

下期より大幅に施策をシフトし一定数の顧客を維持する施策へ

- 多数を自社サイトへ誘導する積極的な広告宣伝を大幅に抑え、一定数の定期購入顧客の新規獲得を図る施策に転換
- E Cモールを積極的に活用し、販売機会の拡大を図る



2024年3月期 実績

増収減益。

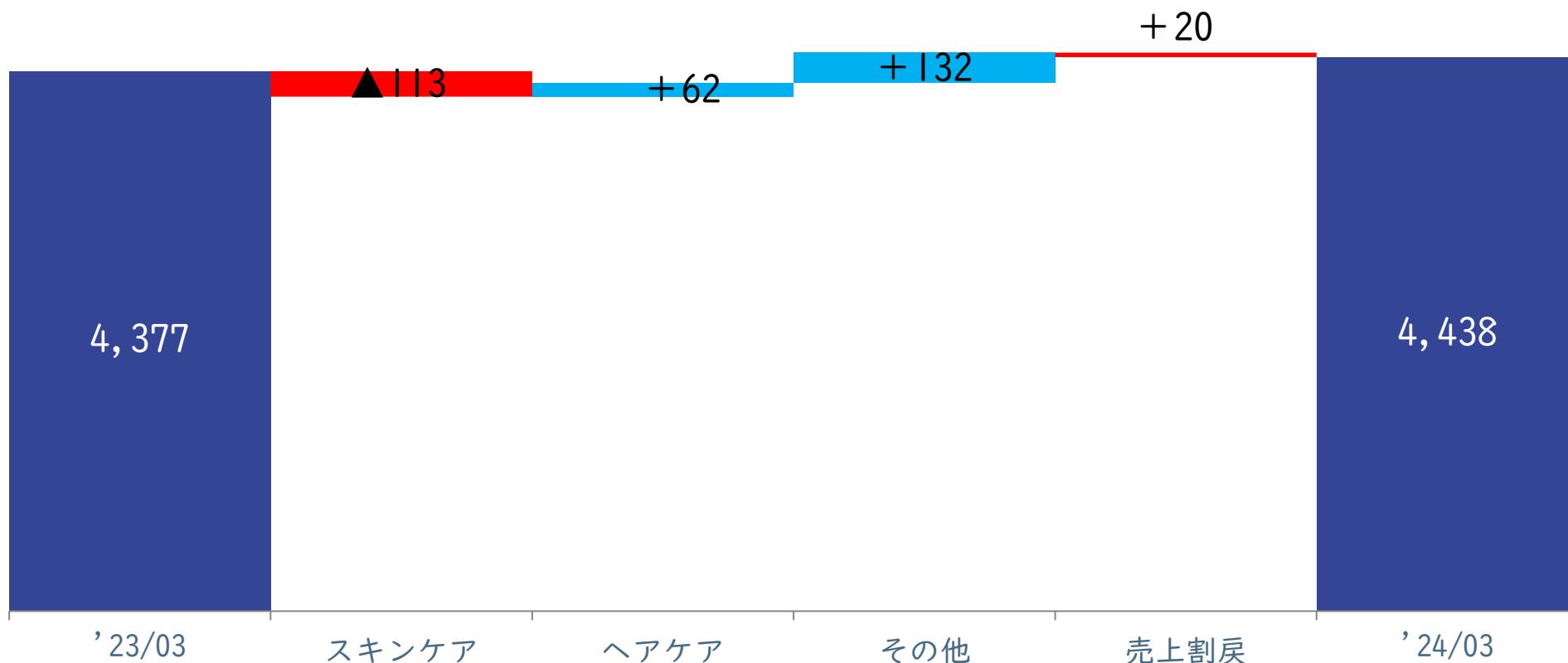
EC事業売上が増加するも在庫評価減及び広告宣伝費の増加が利益に影響。

(単位：百万円)	前期		当期					
	実績	構成比	実績	構成比	前期比 増減率	計画 (`23/10/20)	構成比	計画比 増減率
売上高	4,377	100.0%	4,438	100.0%	1.4%	4,500	100.0%	▲1.4%
スキンケア	1,756	40.1%	1,642	37.0%	▲6.5%	1,733	38.5%	▲5.2%
ヘアケア	2,765	63.2%	2,827	63.7%	2.3%	2,770	61.6%	2.1%
その他	191	4.4%	324	7.3%	69.3%	352	7.8%	▲7.8%
売上割戻金	▲336	▲7.7%	▲357	▲8.0%	—	▲355	▲7.9%	—
売上原価	1,461	33.4%	1,578	35.6%	8.0%	1,476	32.8%	6.9%
売上総利益	2,915	66.6%	2,860	64.4%	▲1.9%	3,024	67.2%	▲5.4%
販管費	2,683	61.3%	2,861	64.4%	6.6%	3,010	66.9%	▲4.9%
営業利益	232	5.3%	▲1	▲0.0%	—	14	0.3%	—
経常利益	265	6.1%	17	0.4%	▲93.6%	31	0.7%	▲45.2%
親会社に帰属する 当期純利益	403	9.2%	▲99	▲2.3%	—	▲62	▲1.4%	—

区分別売上高 前期比増減要因

- スキンケアは新シリーズの上市があったが既存品の剥落が影響
- ヘアケアは既存品の剥落を新シリーズの上市及びリニューアルしたエッセンスがカバーし堅調に推移
- その他は、EC事業による増収

単位：百万円



損益の増減要因（対前期比）

		前期比															
営業利益	原価	E C事業の在庫評価減91百万円等があり原価率2.2pt増加															
	販管費	<p>E C事業の広告宣伝、I T費、減価償却費等により売上対販管費比率3.2pt増加</p> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">・主な増加</td> <td colspan="2">・主な減少</td> </tr> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td>2.5pt</td> <td>販売促進費</td> <td>▲1.0pt</td> </tr> <tr> <td>I T費</td> <td>0.6pt</td> <td>採用教育費</td> <td>▲0.2pt</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>0.6pt</td> <td>修繕費</td> <td>▲0.2pt</td> </tr> </table>	・主な増加		・主な減少		広告宣伝費	2.5pt	販売促進費	▲1.0pt	I T費	0.6pt	採用教育費	▲0.2pt	減価償却費	0.6pt	修繕費
・主な増加		・主な減少															
広告宣伝費	2.5pt	販売促進費	▲1.0pt														
I T費	0.6pt	採用教育費	▲0.2pt														
減価償却費	0.6pt	修繕費	▲0.2pt														
当期利益	その他	前期の投資有価証券の譲渡による特別利益322百万円が剥落															

貸借対照表 前期比増減要因

(単位：百万円)	資産の部			負債の部・純資産の部		
	前期末	当期末	増減率	前期末	当期末	増減率
流動資産/流動負債	3,339	3,587	7.4%	639	608	▲5.0%
固定資産/固定負債	2,212	1,689	▲23.6%	424	451	6.4%
資産合計/負債合計	5,551	5,277	▲4.9%	1,064	1,060	▲0.4%
/純資産				4,487	4,216	▲6.0%
/負債純資産合計				5,551	5,277	▲4.9%

総資産	前期末比▲274百万円	現金及び預金+590 棚卸資産▲225	投資有価証券▲385 繰延税金資産▲30 保険積立金▲96
負債	前期末比▲3百万円	買掛金+27 未払金▲18 未払法人税等▲54	リース債務+11 資産除去債務+18
純資産	前期末比▲270百万円	当期利益▲99 配当金▲191 自己株式+12	

キャッシュ・フロー計算書

営業CF

+377百万円

棚卸資産減少による増加額225百万円、減価償却費による影響額125百万円

投資CF

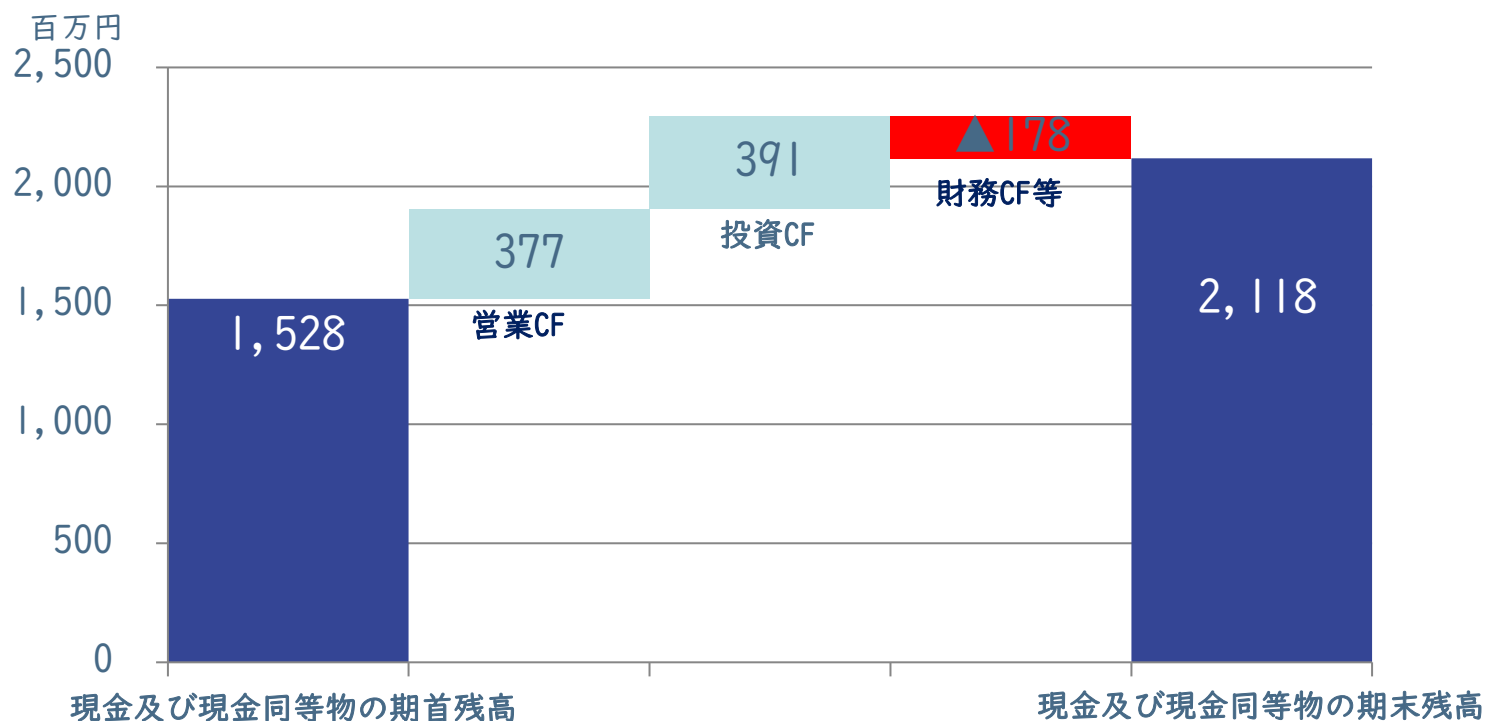
+391百万円

投資有価証券の取得による支出201百万円、投資有価証券の売却による収入597百万円

財務CF等

▲178百万円

配当金の支払額192百万円



2025年3月期計画

2025年3月期 通期計画の前提①

理美容専売事業：今期はスキンケア新ライン上市で売上をつくる。
EC事業：広告宣伝方針（8頁参照）を改め前期後半から再活動。

売上

対前年4.6%成長

スキンケア

新ライン上市（4月）、美容液追加上市（10月）、
2ラインの限定キャンペーン（8、9月）

ヘアケア

限定キャンペーン（11月）

その他

EC事業は2種のモール、自社サイトを併用し堅実に推進

原価

率2.6pt減少

理美容専売事業：自社処方ラインアップ増強により原価率低減

在庫回転日数（237日）を改善、原料資材単価UPの影響は軽微

EC事業：前期在庫評価減の剥落による改善

E C 広告見直し、理美容専売事業の人員、販促活動強化

販管費

率0.9pt減少

理美容専売事業

- 販促促進、広告費用（+65百万円）、荷造運搬費（+13百万円）
- 人件費（+70百万円）

E C 事業

- 顧客獲得方針を見直し広告宣伝の使い方を変更（▲101百万円）

海外事業

- ▲6百万円

業務用事業

- +20百万円

2025年3月期 通期計画

増収増益

粗利率2.6pt増加、販管費比率0.9pt減少の改善計画

(単位：百万円)	前期		2025年3月期計画		
	実績	構成比	計画 (`23/4/21)	構成比	前期比 増減率
売上高	4,438	100.0%	4,640	100.0%	4.6%
スキンケア	1,642	37.0%	1,781	38.4%	8.4%
ヘアケア	2,827	63.7%	2,741	59.1%	▲3.1%
その他	324	7.3%	484	10.4%	49.3%
売上割戻金	▲357	▲8.0%	▲366	▲7.9%	—
売上原価	1,578	35.6%	1,529	33.0%	▲3.1%
売上総利益	2,860	64.4%	3,111	67.0%	8.8%
販管費	2,861	64.4%	2,947	63.5%	3.0%
営業利益	▲1	▲0.0%	163	3.5%	—
経常利益	17	0.4%	163	3.5%	857.8%
親会社に帰属する当期純利益	▲99	▲2.3%	79	1.7%	—

2025年3月期 通期計画（上下比）

理美容専売事業はスキンケアの新ラインの投入と既存ラインの追加で売上伸長
ヘアケアは限定キャンペーンを2年連続実施予定
E C事業は堅実に成長軌道を描く

(単位：百万円)	前期				2025年3月期計画			
	上期		下期		上期		下期	
	実績	構成比	実績	構成比	計画	構成比	計画	構成比
売上高	2,213	100.0%	2,224	100.0%	2,247	100.0%	2,393	100.0%
スキンケア	849	38.4%	793	35.7%	915	40.7%	866	36.2%
ヘアケア	1,394	63.0%	1,433	64.4%	1,312	58.4%	1,429	59.7%
その他	142	6.4%	181	8.2%	191	8.5%	293	12.3%
売上割戻金	▲173	▲7.8%	▲184	▲8.3%	▲171	▲7.6%	▲195	▲8.2%
売上原価	776	35.1%	801	36.0%	718	32.0%	811	33.9%
売上総利益	1,437	64.9%	1,422	64.0%	1,528	68.0%	1,582	66.1%
販管費	1,530	69.1%	1,331	59.9%	1,523	67.8%	1,424	59.5%
営業利益	▲92	▲4.2%	91	4.1%	5	0.2%	158	6.6%
経常利益	▲87	▲3.9%	104	4.7%	5	0.2%	158	6.6%
親会社に帰属する当期純利益	▲140	▲6.4%	40	1.8%	▲16	▲0.7%	96	4.0%

研究開発動向

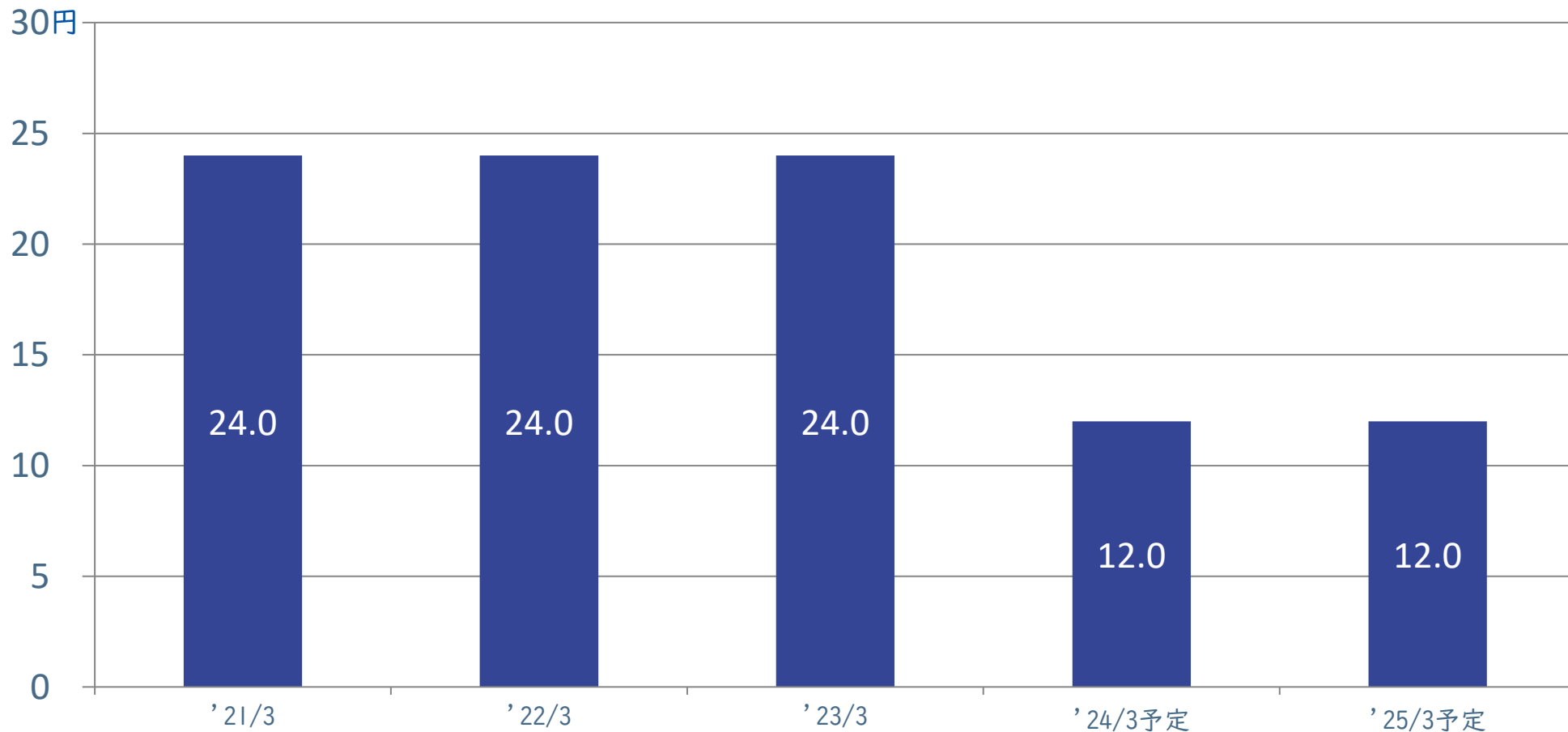
スクリーニングで発見した育毛成分を基に、現在商品化を目指しプロジェクトを進行中。各プロジェクトの進捗に大きな遅れはないものの、開発ステージが最終に近づくにつれ、費用が高額化していくため、投資ポートフォリオを勘案し上市予定時期を変更する場合有。



株主還元

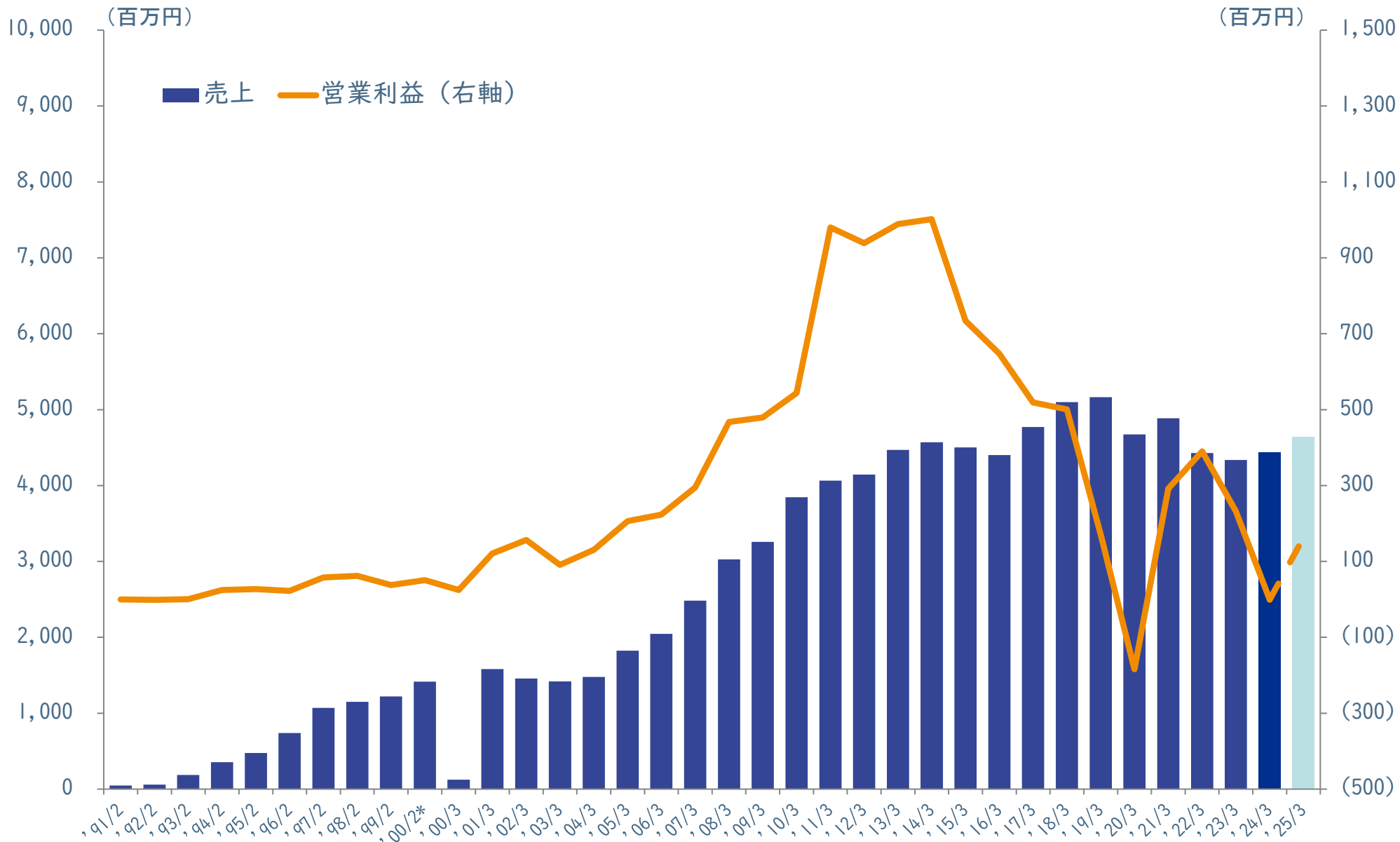
配当金の推移（1株当たり）

～業績を勘案しつつ安定的な配当を継続して実施していく方針～



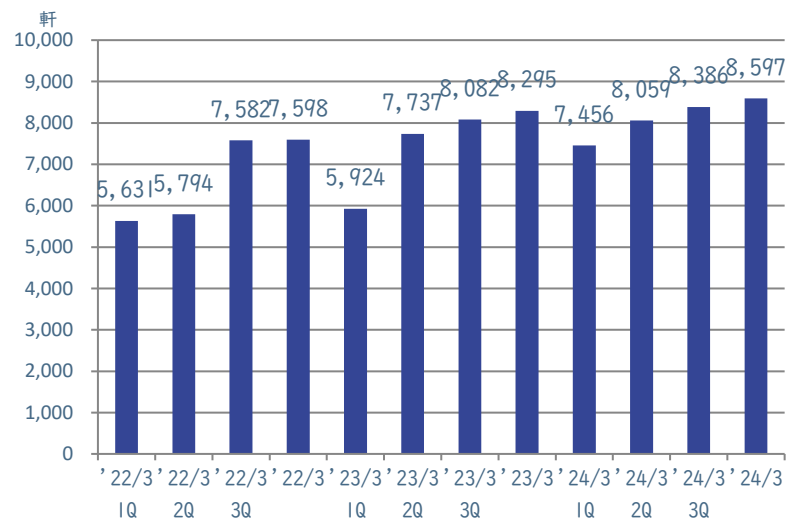
参考情報

売上高 営業利益推移

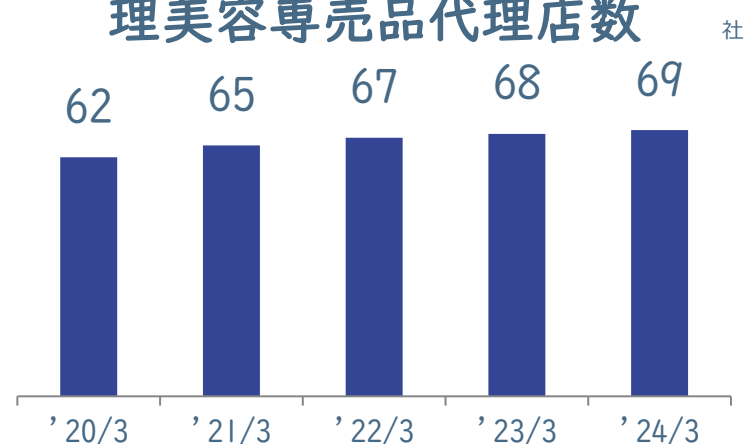


※ F Y' 00決算期変更

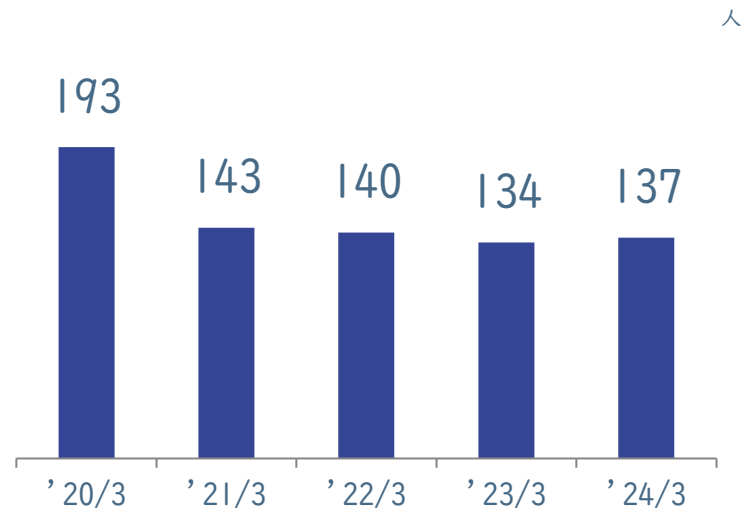
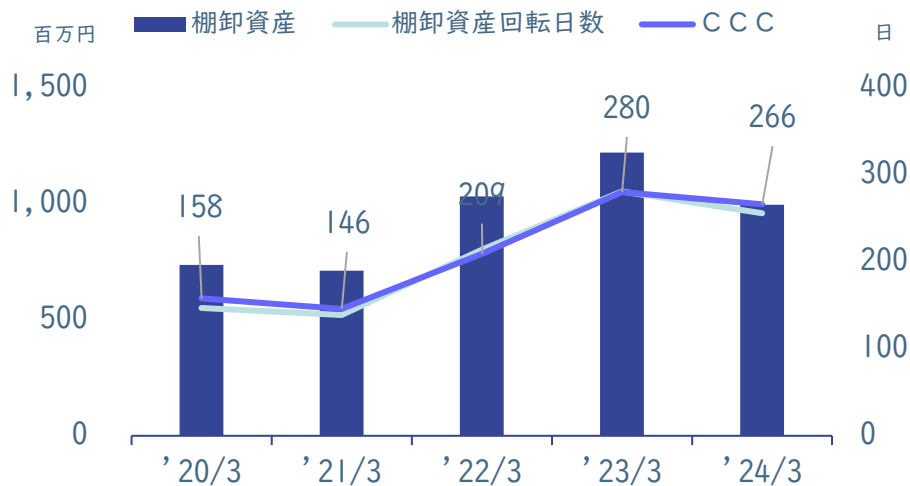
アジュバンサロン稼働店舗数



理美容専売品代理店数



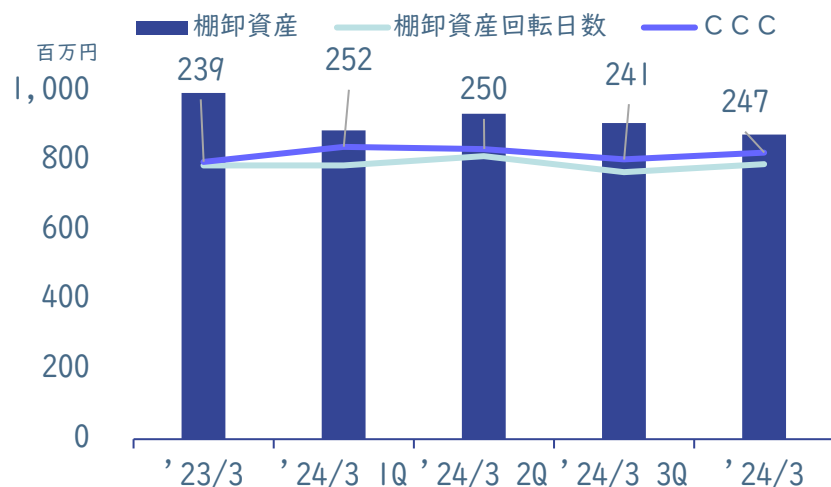
グループ従業員数



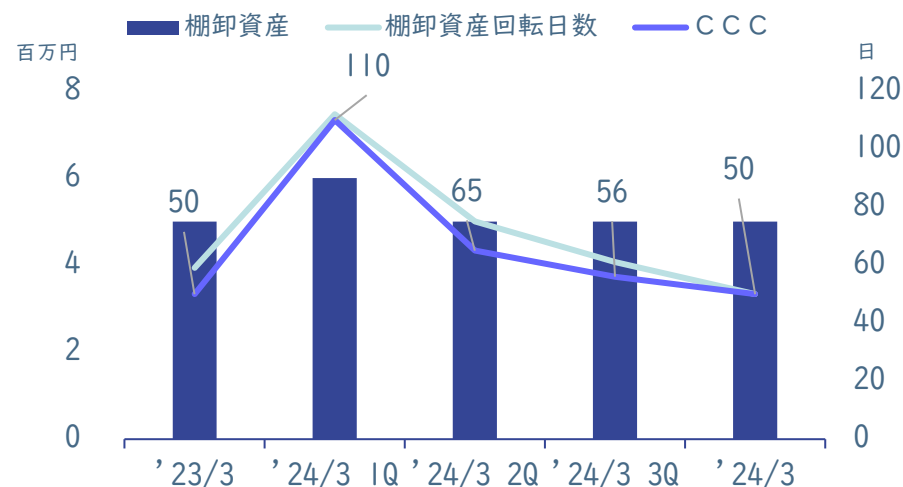
'21/3にてEX社を連結子会社から除外

子会社別経営指標（持株会社移行後）

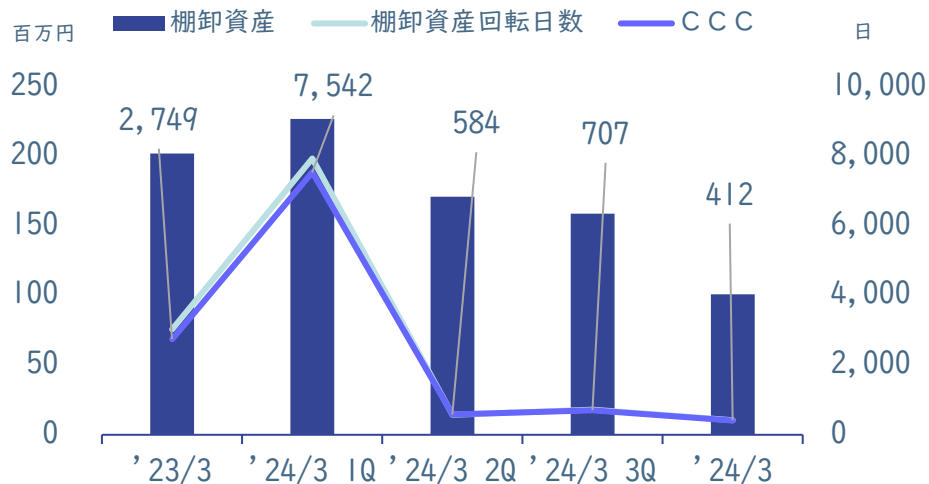
アジュバンコスメジャパン



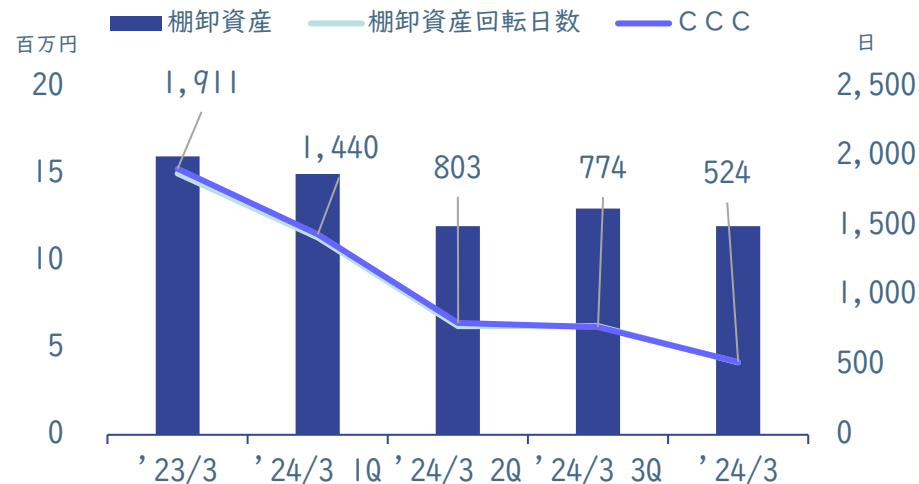
アジュバングローバル



2C



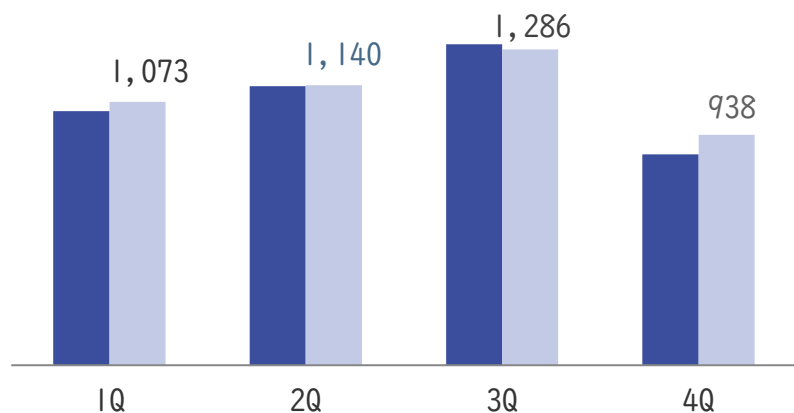
シアー・プロフェッショナル



四半期別比較

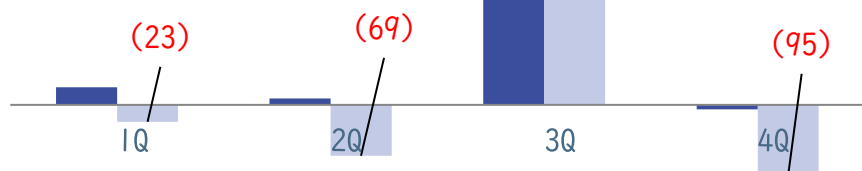
売上高 左 '23/3 右 '24/3

(百万円)



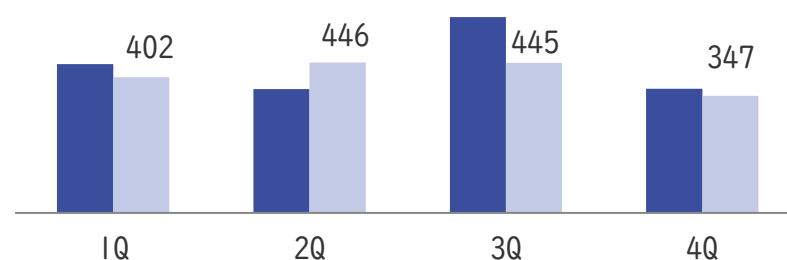
営業利益 左 '23/3 右 '24/3

(百万円)



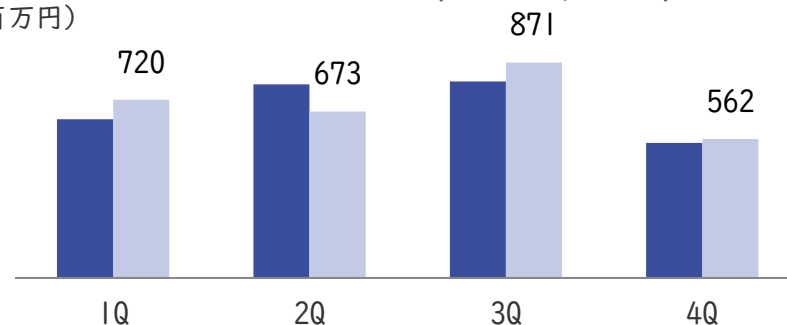
スキンケア 左 '23/3 右 '24/3

(百万円)



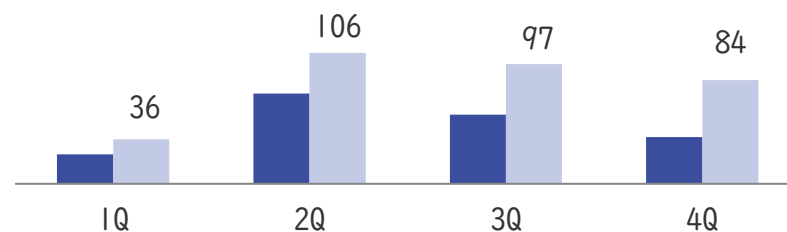
ヘアケア 左 '23/3 右 '24/3

(百万円)



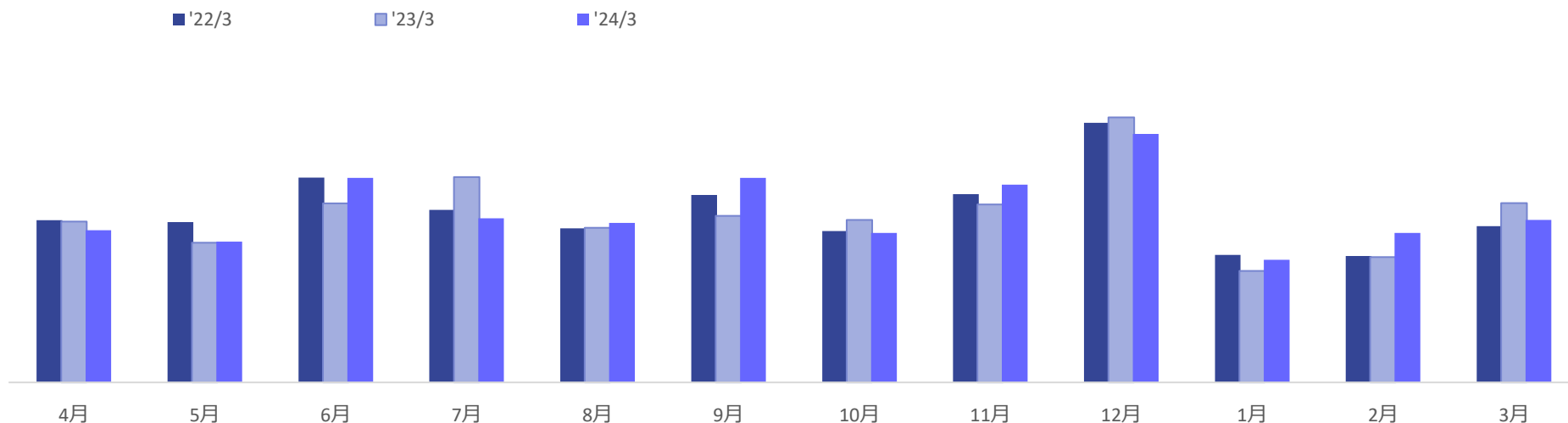
その他 左 '23/3 右 '24/3

(百万円)



【3期比】月別売上推移及び営業部員構成比

月別連結売上推移



3月末現在の理美容専売事業営業部部門の在籍年数分布

	'22/3	'23/3	'24/3
～1年	11%	11%	22%
～2年	7%	11%	10%
～3年	2%	6%	7%
～4年	7%	3%	5%
～5年	11%	6%	3%
5年～	62%	63%	53%



本資料ならびに I R 関係のお問合せにつきましては、
下記までお願いいたします。

株式会社アジュバンホールディングス 広報 I R グループ
ir-contact@adjuvant.co.jp

本資料は、当社の現状を理解していただくために作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。